

農林水産分野 における 生物多様性

取組事例集

いま、私たちにできること



農林水産業と 生物多様性のかかわり



経済発展や技術開発により、人間の生活は物質的に豊かで便利になる反面、生物多様性の減少は前例のない速さで進行しており、人類が豊かに生存し続けるための基盤となる地球環境は、限界に達しつつあります。

一方、我が国の農林水産業は、農山漁村人口の著しい高齢化・減少等による農林水産業の担い手不足と、これに伴う農地面積の減少という事態に直面しています。

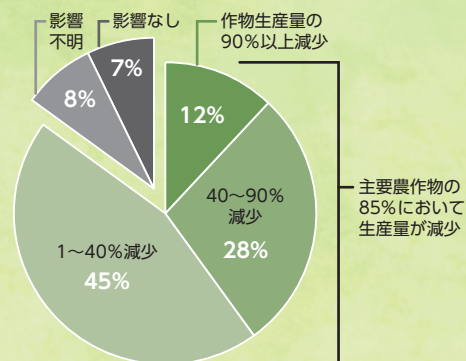
農林水産業は地球と人をつなぎ、人間の生存に必要な食料や生活資材などを供給する必要不可欠な活動です。人間による農林水産業の営みは、人々にとって身近な自然環境を形成し、多様な生物種の生育・生息に重要な役割を果たしています。また農林水産業は、気候の安定、水の浄化、受粉、天敵、土壌形成、光合成や栄養循環など、生物多様性から得られる様々な生態系サービスに支えられています。

農林水産業と生物多様性のつながりは、農山漁村の文化や景観をかたちづくり、農山漁村に活力を与え、地域経済の発展や健康的でゆとりある豊かな生活の基盤となっています。

人間が直接消費し、世界市場で取引されている 世界の主要作物の動物媒介受粉への依存度

ミツバチ等の花粉媒介者をすべて失うと、世界の主要作物(107品目)のうち85%の生産量に影響が予想される。

すべての花粉媒介者を喪失した場合の作物生産量の減少幅の推計値



出典：IPBES 2016[花粉媒介者、花粉媒介及び食料生産に関するアセスメントレポート]をもとに和訳

注) 人間が直接食用とする果実または種子を生産する作物(107品目)が対象であり、自家受粉や栄養生殖をする作物等は含まれない。

IPBESは、世界中の研究成果を基に政策提言を行う政府間組織。

正式名は「生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学-政策プラットフォーム(Intergovernmental science-policy Platform on Biodiversity and Ecosystem Services)。

「いま、私たちにできること」とは

農林水産業の担い手は、生業を通じて、農林水産物を生産するだけでなく、生物多様性を保全・再生し、様々な生態系サービスを産み出す重要な役割を果たしています。

我が国の農山漁村における豊かな生物多様性を守り、その恵みを将来にわたって持続的に活かしていくためには、農山漁村とその担い手の役割を支えるとともに、消費者の理解と行動変容の促進等を通じて、環境創造型の農林水産業の実現を促進していくことが重要です。

この事例集では、「生物多様性を始めとした環境への配慮により、販路や資金調達につなげている」、「生産の現場と消費者をつなげ理解を育んでいる」、「生産物や地域のブランド力を高めている」など、農林水産分野の生産現場に加え、流通・消費段階、そして様々な担い手が協力して取り組む生物多様性に関わる先行的な事例を紹介しています。

この事例集が、「いま、私たちにできること」の発見や実践のヒントとなることを願っています。

農業分野における生物多様性の取組

P3

- カゴメ株式会社 カゴメ野菜生活ファーム富士見の畑で“生物多様性保全”に配慮した農業を開始
- キリンホールディングス、メルシャン ぶどう畑として活用することで生物多様性が回復
- 株式会社オプティムアグリ・みちのく ドローン(小型無人機)を使ったピンポイント農薬散布防除サービス

森林分野における生物多様性の取組

P4

- 株式会社 西栗倉・森の学校 環境に配慮したFSC®認証材を使い、新たな商品と販路を開拓
- 沖縄県庁ほか 自然環境の保全と環境に配慮した利活用を推進する「やんばる型森林業」
- 日本製紙グループ 「環境憲章」を起点とした「生物多様性保全に関する基本方針」とその実践

水産分野における生物多様性の取組

P5

- 宮城県漁業協同組合志津川支所戸倉出張所 ASC認証取得のカキ養殖の販路の拡大、森川里海の連携
- 富山湾しろえび倶楽部 プール制の導入により過度な競争・乱獲を回避し、漁獲量を安定化
- ニススイグループ 水産事業者が海を育む森を整備

流通・消費分野における生物多様性の取組

P6

- コープデリ生活協同組合連合会 消費者と生態系に配慮した生産者を結ぶ佐渡トキ応援お米プロジェクト
- パナソニック株式会社 “日本初”社員食堂への「サステナブル・シーフード」の継続導入
- 株式会社カインズ 消費者が国産FSC®認証木材を簡単に入手できる環境

さまざまな主体が連携した生物多様性の取組

P7

- 大分県白杵市 「有機の里」でまちおこし 低農薬でつくった「ほんまもん農産物」を学校給食などで、積極活用
- 滋賀県 自然資源を持続的に利用する事業者を応援する「しが生物多様性取組認証制度」
- 新潟大学 生物多様性と農業技術革新の共存を図る「里山未来会議」と「ソリューション探索会議」を設置

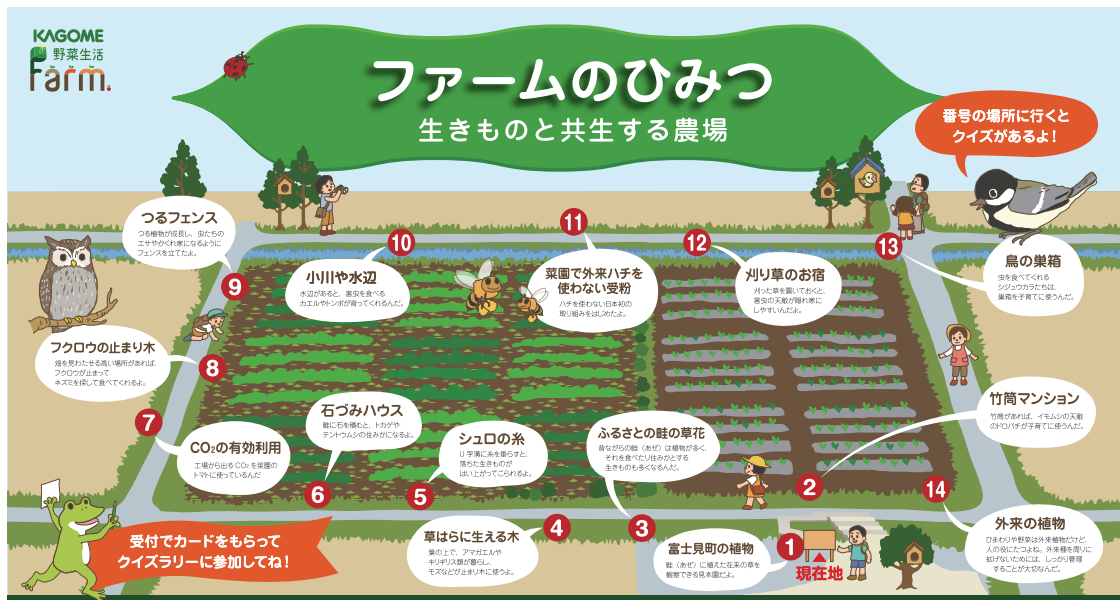
農業分野における生物多様性の取組

身近なところにヒントがある

カゴメ株式会社

(主な取組地域：長野県富士見町)

カゴメ野菜生活ファーム富士見の畑で
“生物多様性保全”に配慮した農業を開始



- カゴメ株式会社では、「カゴメ野菜生活ファーム富士見」に隣接する 1.2 ヘクタールの畑を、「生きものと共生する農場」として、持続可能な農業の実現を目指す取組を始めている。
- 畑まわりに設置された「竹筒マンション」は、害虫である幼虫を駆除するドロバチの巣となる。また「石づみハウス」は、害虫の天敵となるトカゲやてんとうむしの住処になるよう作られており、農業に役立つ生きものを畑へと呼びこみ、生きものの力を活かして農業の展開を目指している。
- 同社では、野菜生活ファーム富士見の来場者むけに「畑の生きものクイズラリー」ができる看板を設置し、生物多様性や生きもの大切さを楽しく学ぶことのできる場ともしている。

キリンホールディングス、メルシャン

(主な取組地域：長野県上田市)

ぶどう畑として活用することで
生物多様性が回復



- メルシャンでは長野県上田市に梔子ヴィンヤードを2003年に開場した。
- ワイン用のブドウは垣根栽培であり、適度に下草を生やすよう維持管理する必要がある。この環境が従前の耕作放棄地の状態に比べ、生物多様性の向上に寄与しており、希少種を含む昆虫168種、植物258種が確認されている。

株式会社オプティムアグリ・みちのく

(主な取組地域：青森県)

ドローン(小型無人機)を使った
ピンポイント農薬散布防除サービス



- システム開発のオプティムとみちのく銀行は農業地域商社オプティムアグリ・みちのく(青森市)を設立。
- オプティムが開発した特許技術である「ピンポイント農薬散布・施肥テクノロジー」を同社が活用し、AIによって病害虫が検知された箇所のみにドローンを用いて、ピンポイントで農薬散布し、環境への負荷を大幅に低減している。

森林分野における生物多様性の取組

森と生活者とがつながる

株式会社 西栗倉・森の学校

(主な取組地域：岡山県西栗倉村)

環境に配慮したFSC®認証材を使い、
新たな商品と販路を開拓



- 人口1,400人余りの岡山県西栗倉村では2008年に「百年の森林構想」を策定。役場が森林所有者から森林を預かり、間伐や作業道整備などを行うとともに、森林の適切な管理や、生物多様性を始めとした環境への配慮等を評価、認証するFSC認証の取得を推進。現在約3,000haの山林が、FSC/FM認証林となっている。
- 村・民間企業・村民の出資で2009年に設立された、木材加工流通事業を中心とした地域商社「西栗倉・森の学校」では、村内のFSC認証林の間伐材を活用し、「ユカハリ・タイル」や「ヒトデマキッ」など、ヒット商品を開発、黒字化するとともに新たな雇用を生み出している。

沖縄県庁ほか

(主な取組地域：沖縄県国頭村、大宜味村、東村)

自然環境の保全と環境に配慮した
利活用を推進する「やんばる型森林業」

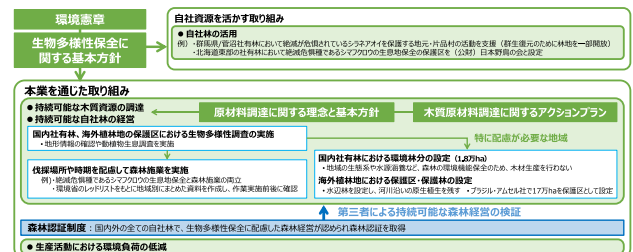


- 「沖縄21世紀ビジョン基本計画」で示された「環境と調和した持続可能な林業生産活動、計画的な森林振興」などの実現に向け、沖縄県では「やんばる型森林業の推進」を施策化。地元3村との協力のもと、重視すべき機能に応じた、森林の細かなゾーニングを設定。
- 利用区分ごとの施策方針に基づいた伐採収穫方法の実証実験のほか、森林ツーリズム等の自然体験活動や、造成未利用地の活用などを推進している。

日本製紙グループ

(主な取組地域：全国、海外)

「環境憲章」を起点とした
「生物多様性保全に関する基本方針」とその実践



- 日本製紙グループの事業活動は、生物多様性を育む森林に大きく依存しており、森林を持続可能な形で活用していくことが、事業の存続・発展の基盤と捉えている。同グループでは「環境憲章」を起点とした、「生物多様性保全に関する基本方針」の下で取組を推進している。
- 本業を通じて生物多様性の保全に取り組むとともに、自社の資源を活かす活動も進めている。

水産分野における生物多様性の取組

水産資源を守り広げる販路

宮城県漁業協同組合志津川支所戸倉出張所

(主な取組地域：宮城県南三陸町)

ASC認証取得のカキ養殖の販路の拡大、
森川里海の連携



写真提供 南三陸町観光協会

- 2016年3月30日、宮城県漁業協同組合志津川支所の戸倉出張所が手掛けるカキ養殖が、環境や地域社会に配慮した養殖業だけが取得できる国際的な認証ASC(水産養殖管理協議会)の漁業認証を日本では初めて取得した。また、非認証の水産物の混入を防ぎ、製品がたどってきた経路を遡ることができるようトレーサビリティを確保した加工・流通過程を認証する、ASC CoC認証についても、2016年2月に取得。「海のエコラベル」を付けた持続可能で適切に管理された養殖によるカキを、消費者のもとに届ける体制を整えており、ブランド力の強化や安定的な販路の確保につなげている。
- また同町では、南三陸森林管理協議会がFSC認証を取得し、志津川湾の海藻・藻場がラムサール条約の登録を受け、官民一体となって森・川・里・海をつなげた持続可能な生産体制づくりに取り組んでいる。

富山湾しろえび倶楽部

(主な取組地域：富山県射水市)

プール制の導入により
過度な競争・乱獲を回避し、漁獲量を安定化



- 富山湾でのみ漁獲される『シロエビ』について、新湊漁業協同組合のシロエビ漁業者グループは、全体の水揚げ量を調整しながら、水揚げ金額をプールし、各船に均等に分配するプール制を採用し、漁獲量の安定化につなげている。
- 漁業者同士の過度な競争・乱獲を抑止することで、資源枯渇を未然に回避、持続的な資源を自らの手で守り続けていく取組が続けている。

ニッスイグループ

(主な取組地域：鳥取県)

水産事業者が海を育む森を整備



- 日本水産では、2018年に琴浦町と森林保全・管理協定を締結し、大山隠岐国立公園内の船上山の森林に「おさかなをはぐくむ湧水と海を守る森」を設け、広葉樹林の整備を行っている。
- 鳥取県内のグループ企業では、養殖・加工事業、漁業を営んでおり、船上山における湧水を利用したギンザケの採卵・孵化、沿岸海面での養殖や近海漁業と、豊かな水が繋ぐ生物多様性の恩恵を得ている。

流通・消費分野における生物多様性の取組

売る・買う・食べるがリードする

コープデリ生活協同組合連合会

(主な取組地域：新潟県佐渡市)

消費者と生態系に配慮した生産者を結ぶ
佐渡トキ応援お米プロジェクト



- 佐渡米の生産者たちは、農薬・化学肥料を減らすことで、さまざまな生きものが田んぼにいらすことができる米づくりを行っている。手間がかかることに加え、魚道・江・ビオトープなどの整備や、冬季湛水の実施など、生きものがいらすことができる環境を維持するための費用もかかる。
- コープデリは1994年から佐渡米を販売し、生産者と親交を重ねるとともに、2010年からは佐渡トキ応援お米プロジェクトをスタート。CO・OP産直新潟佐渡コシヒカリ、その加工品の売上の一部を「佐渡市トキ環境整備基金」へ寄付する取組を続けており、2020年までの累計で2,600万円以上を支援している。
- また、「コープのトキ応援米稲刈り&交流」なども開催しており、組合員とその家族、生産者や地元の小中高生と一緒に稲刈りや生きものの調査を行うといった活動も実施している。

パナソニック株式会社

(主な取組地域：全国)

“日本初”社員食堂への
「サステナブル・シーフード」の継続導入



- パナソニック株式会社は、2018年3月にMSC及びASC認証を取得した持続可能な水産物(サステナブル・シーフード)を、本社を含む2拠点の社員食堂から導入を開始した。(2021年3月末には、累計52拠点に導入予定)
- 企業が社員食堂で継続的に提供するのは日本国内では初めての取組。今後、国内の約100拠点の全社員食堂への導入を目指して取組を進めている。
- 併せて、自社導入で得たノウハウや業務負荷とコストを大幅に削減できる認証取得の仕組みの紹介など、他企業の導入支援も積極的に行っている。

株式会社カインズ

(主な取組地域：全国)

消費者が国産FSC® 認証木材を
簡単に入手できる環境



- ホームセンター初の国産FSC認証針葉樹合板を採用。
- 中国地方の国産FSC認証ヒノキと杉を使い、(株)日新が製造した針葉樹合板を2020年から一部店舗にて販売開始した。
- これまでに手に入れることが必ずしも容易ではなかった国産の環境配慮木材について、流通・販売事業者が、消費者に選択肢を提供した取組となっている。

さまざまな主体が連携した生物多様性の取組

地域や金融機関、大学など、みんなで取り組む

大分県臼杵市

(主な取組地域：大分県臼杵市)

「有機の里」でまちおこし
低農薬でつくった「ほんまもん農産物」を
学校給食などで、積極活用



- 生態系に配慮した農林漁業を推進している大分県臼杵市では、農地やその周辺の生態系を保全するため、化学肥料・化学合成農薬に頼らず、環境にやさしい「ほんまもん農業」を推進している。2010年度には、「臼杵市土づくりセンター」を建設・運営し、微生物や小動物を育む完熟堆肥「うすき夢堆肥」の供給体制を整えるとともに、化学肥料を使わないで育てた「ほんまもん農産物」を認証する市独自の認証制度を準備した。
- また、販売網を確保することで有機農業が経済的に成り立つ環境整備を進めており、市内の飲食店や学校給食における地元食材の利用促進など、地産地消の取組を支援。例えば、臼杵市の小学校、中学校では、市内の約70戸の農家の協力を得て給食で使用する野菜の約40%を地元産でまかなうなど、生産者と自治体と一緒に、地産地消型の販売先を確保している。

滋賀県

(主な取組地域：滋賀県)

自然資源を持続的に利用する事業者を
応援する「しが生物多様性取組認証制度」

- 滋賀県では、生物多様性に取り組んでいる事業者を「見える化」し、認証事業者の社会的な付加価値を増加させることで、生物多様性の視点の浸透を図ることを目的として、「しが生物多様性取組認証制度」を2018年度から実施している。
- 事業活動における生物多様性の保全や自然資源の持続的な利活用に関する取り組みをチェックシートで確認し、その項目数に応じて3段階で認証する。
- 2019年度においては、農業生産者(5者)に加え、融資先の生物多様性格付等を実施している滋賀銀行など、46者が認証されている。



新潟大学

(主な取組地域：新潟県佐渡市)

生物多様性と農業技術革新の
共存を図る「里山未来会議」と
「ソリューション探索会議」を設置



- 新潟大学佐渡自然共生科学センターと佐渡市では、佐渡の里山地域をフィールドに、地域住民と技術者等が集う対話的協働探究の場(里山未来会議)を展開。
- 地域内外の多彩な技術やアイデアを生かして、課題解決の可能性を切り拓くことで、生物多様性と農業技術革新が共存する里山創生の新たなモデル開発を目指している。

全国各地にひろがる 実践事例

農林水産業や食に関わる分野における生物多様性の取組

 世界 … 世界農業遺産

 日本 … 日本農業遺産

主な取組地域	取組主体	取組名 / 取組の概要	備考
宮城県石巻市	石巻市立大原小学校	「牡蠣養殖体験」や国有林の除伐作業などの維持管理を通じた地域の自然を学び守る “子供たちによるふるさとづくり”	
宮城県登米市	宮城県登米市立米谷小学校	登米市の伝統野菜を学んで育て次世代に繋げる	
宮城県大崎地域	大崎地域世界農業遺産推進協議会	持続可能な水田農業を支える 「大崎耕土」の伝統的水管理システム	 世界  日本
宮城県南三陸町	宮城県漁業協同組合 志津川支所戸倉出張所	ASC認証取得のカキ養殖の販路の拡大、森川里海の連携	
秋田県	北都銀行ほか	適切な森林管理を後押しする木質バイオマス発電を企画段階からサポート	
山形県最上川流域	山形県紅花振興協議会	歴史と伝統がつなぐ山形の「最上紅花」～日本で唯一、世界でも稀有な紅花生産・染色用加工システム～	 日本
栃木県日光市	日光市役所	2018年に建設された日光市役所庁舎では、日光森林組合、地元の製材業者、建築会社等25団体が連携し、外壁や壁、天井等の一部に地域で生産されたSGEC認証材を利用し、プロジェクト認証を取得	
群馬県神流町	群馬県立勢多農林高等学校 植物バイオ研究部	伝統食材「あかじゃが」「アワバタグイズ」を活用した植物遺伝資源の保存と地域振興プロジェクト	
埼玉県川越市	NPO法人 かわごえ里山イニシアチブ	生きものの育む田んぼプロジェクト	
埼玉県鴻巣市	鴻巣こうのとりを育む会	田んぼ生きものの賑わいプロジェクト	
埼玉県深谷市	社会福祉法人埼玉のぞみ園	障がい者と共に、生物多様性を視点に取り入れて食用薔薇を栽培	
埼玉県武蔵野地域	武蔵野の落ち葉堆肥農法 世界農業遺産推進協議会	武蔵野の落ち葉堆肥農法	 日本
埼玉県小川町	NPO生活工房つばさ・游	有機米の全量買取で地域の環境を守る OKUTAこめまめプロジェクト	
千葉県いすみ市	自然と共生する里づくり 連絡協議会	自然と共生する里づくり (環境配慮有機米「いすみっこ」の栽培を通じた生物多様性の保全・復元の取組)	
東京都八王子市	和食 ころも味あじなお	「お客様の健康」と「自然環境」に配慮されている生産者の方をご紹介するイベント 「あじなお居酒屋day」の実施	
東京都新宿区	株式会社アキュラホーム	間伐材を活用した「木のストロー」普及による森林保全活動 (ウッドストロープロジェクト)	

主な取組地域	取組主体	取組名 / 取組の概要	備考
新潟県佐渡市	佐渡市	トキと共生する佐渡の里山	 世界農業遺産
新潟県佐渡市	コープデリ生活協同組合連合会	消費者と生態系に配慮した生産者を結ぶ 佐渡トキ応援お米プロジェクト	
新潟県中越地域	長岡・小千谷『錦鯉発祥の地』 活性化推進協議会	雪の恵みを活かした稲作・養鯉システム	 日本農業遺産
新潟県魚沼地域	新潟大学ほか	スノービーチプロジェクト(家具など木材加工産業との連携による持続可能なブナ林業)	
富山県氷見地域	氷見農業遺産推進協議会	氷見の持続可能な定置網漁業	 日本農業遺産
富山県射水市	富山湾しろえび倶楽部	プール制の導入により過度な競争・乱獲を回避し、 漁獲量を安定化	
石川県能登地域	能登地域GIAHS推進協議会	能登の里山里海	 世界農業遺産
福井県 三方五湖地域	三方五湖世界農業遺産 推進協議会	三方五湖の汽水湖沼群漁業システム	 日本農業遺産
山梨県峡東地域	峡東地域世界農業遺産 推進協議会	盆地に適応した山梨の複合的果樹システム	 日本農業遺産
長野県上田市	キリンホールディングス、 メルシャン	ブドウ畑として活用することで生物多様性が回復	
岐阜県 長良川上中流域	世界農業遺産「清流長良川の鮎」 推進協議会	清流長良川の鮎 一里川における人と鮎のつながり	 世界農業遺産
静岡県 わさび栽培地域	静岡わさび農業遺産推進協議会	静岡水わさびの伝統栽培 一発祥の地が伝える人とわさびの歴史	 世界農業遺産  日本農業遺産
静岡県 掛川周辺地域	世界農業遺産 「静岡の茶草場農法」推進協議会	静岡の茶草場農法	 世界農業遺産
愛知県名古屋市	おかえりやさいプロジェクト	生ごみ堆肥を活用し化学肥料を減らして作った地域 循環型野菜を地域共通ブランド化し地域環境を保全	
愛知県大口町	リンナイ株式会社	社員と家族、みんなでつくる伝統野菜	
三重県 鳥羽・志摩地域	鳥羽・志摩の海女漁業・真珠 養殖業世界農業遺産推進協議会	鳥羽・志摩の海女漁業と真珠養殖業-持続的漁業 を実現する里海システム-	 日本農業遺産
三重県 尾鷲市、紀北町	尾鷲林政推進協議会	急峻な地形と日本有数の多雨が生み出す 尾鷲ヒノキ林業	 日本農業遺産
滋賀県琵琶湖地域	琵琶湖と共生する滋賀の 農林水産業推進協議会	森・里・湖(うみ)に育まれる 漁業と農業が織りなす琵琶湖システム	 日本農業遺産
滋賀県東近江市	東近江永源寺森林組合	多様な広葉樹種を活かし小規模地域林業を活性化	
滋賀県	琵琶湖とつながる 生きもの田んぼ物語推進協議会	湖魚が産卵・成育できる環境を保全する 「魚のゆりかご水田プロジェクト」	
滋賀県	近江米振興協会ほか	環境保全に資する方法で生産された 農産物の生産拡大・販売促進	
兵庫県 兵庫美方地域	「美方郡産但馬牛」 世界・日本農業遺産推進協議会	兵庫美方地域の但馬牛システム	 日本農業遺産
兵庫県 丹波篠山地域	丹波篠山市農業遺産推進協議会	丹波篠山の黒大豆栽培 ～ムラが支える優良種子と家族農業～	 日本農業遺産
兵庫県 南あわじ地域	南あわじ地域 世界・日本農業遺産推進協議会	南あわじにおける水稲・たまねぎ・畜産の 生産循環システム	 日本農業遺産
兵庫県市川町	NPO法人棚田LOVER's	輝くいのち(野草、生き物、農業・化学肥料なし の米・野菜等)を食べて、美しい棚田を未来へつ なげよう!	
兵庫県	生活協同組合コープ自然派兵庫	田んぼの生き物調査 (田んぼの生物多様性向上10年プロジェクト)	
兵庫県	たじま農業協同組合	地域あげコウノトリ復活へ持続可能な農業を実践 「コウノトリ育むお米」が結び消費者との交流	
和歌山県 みなべ・田辺地域	みなべ・田辺地域 世界農業遺産推進協議会	みなべ・田辺の梅システム	 世界農業遺産

主な取組地域	取組主体	取組名 / 取組の概要	備考
和歌山県 海南市下津地域	下津蔵出しみかんシステム 日本農業遺産推進協議会	下津蔵出しみかんシステム	 日本 農業遺産
和歌山県 高野・花園・清水地域	高野山・有田川流域 世界農業遺産推進協議会	聖地 高野山と有田川上流域を結ぶ 持続的農林業システム	 日本 農業遺産
和歌山県有田地域	有田みかん地域 農業遺産推進協議会	みかん栽培の礎を築いた有田みかんシステム	 日本 農業遺産
鳥取県	ニッスイグループ	水産事業者が海を育む森を整備	
島根県奥出雲地域	奥出雲町農業遺産推進協議会	たたら製鉄に由来する奥出雲の資源循環型農業	 日本 農業遺産
岡山県岡山市	おかやま大野ダルマガエル保全 プロジェクト	絶滅危惧種ナゴヤダルマガエルの保護活動などを 通した、環境配慮米の開発・ブランディング	
徳島県 にし阿波地域	徳島剣山 世界農業遺産推進協議会	にし阿波の傾斜地農耕システム	 世界 農業遺産  日本 農業遺産
愛媛県南予地域	愛媛県南予地域 農業遺産推進協議会	愛媛・南予の柑橘農業システム	 日本 農業遺産
高知県四万十町	コクヨ株式会社	結の森プロジェクト (FSC® 森林管理認証を取得し た森で間伐材を活用した家具を製造・販売)	
福岡県福津市	環境ネットワーク「虹」	里地里山、里川の生物多様性保全プロジェクト (無農薬の米作りと田や川の生きものの調査を通じ て里地の生物多様性を保全)	
福岡県糸島市	糸島コミュニティ事業研究会	純国産メンマ作りを通じた竹林対策	
長崎県対馬市	佐護ヤマネコ稲作研究会	ヤマネコ米の生産・販売によるツシマヤマネコの 生息地保全活動	
熊本県阿蘇地域	阿蘇地域世界農業遺産推進協会	阿蘇の草原の維持と持続的農業	 世界 農業遺産
大分県 国東半島宇佐地域	国東半島宇佐地域 世界農業遺産推進協議会	クヌギ林とため池がつなぐ国東半島・宇佐の 農林水産循環	 世界 農業遺産
大分県臼杵市	大分県臼杵市	「有機の里」でまちおこし 低農薬でつくった 「ほんまもん農産物」を学校給食などで、積極活用	
宮崎県高千穂郷・ 椎葉山地域	世界農業遺産高千穂郷・椎葉山 地域活性化協議会	高千穂郷・椎葉山の山間地農林業複合システム	 世界 農業遺産
宮崎県日南市	日南市かつお一本釣り 漁業遺産認定推進協議会	造船材を産出した魎肥(おび) 林業と結びつく 「日南かつお一本釣り漁業」	 日本 農業遺産
宮崎県 田野・清武地域	田野・清武地域 日本農業遺産推進協議会	宮崎の太陽と風が育む「干し野菜」と露地畑作の 高度利用システム	 日本 農業遺産
鹿児島県	一般社団法人鹿児島 水圏生物博物館	鹿児島県内の市場に水揚げされる魚種を調査・研 究し、魚の多様性を広く伝える「かごしま市場の 魚図鑑プロジェクト」	
全国	株式会社アレフ	展開するレストランチェーンなどで、生物多様性 に配慮した持続的なお米を仕入れ	
全国	株式会社カインズ	消費者が国産FSC® 認証木材を簡単に入手できる環境	
全国	住友林業株式会社	住友林業グループ生物多様性長期目標と社有林や 自然林復元活動における取り組み	
全国	パナソニック株式会社	“日本初”社員食堂への 「サステナブル・シーフード」の継続導入	

本リストは、世界農業遺産・日本農業遺産に加え、2017年度以降において下記の賞や認証、冊子等に掲載された取組などから、農林水産業や食に関わる分野における生物多様性の取組を抽出したものです。

- ・生物多様性アクション大賞(国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J))
- ・いきものにぎわい企業活動コンテスト(公益社団法人国土緑化推進機構、公益社団法人日本アロマ環境協会、公益財団法人水と緑の惑星保全機構、地球環境行動会議(GEA))
- ・生物多様性日本アワード(公益財団法人イオン環境財団)
- ・UNDB-J認定連携事業
- ・環境のための農山漁村×SDGsビジネスモデルヒント集(農林水産省) など

※世界農業遺産・日本農業遺産の選定にあたっては、「農業生物多様性」が選定基準の一つとなっています。



発 行：農林水産省 大臣官房政策課 環境政策室
東京都千代田区霞が関1-2-1 TEL. 03-3502-8111

編集協力：株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所

令和3年3月発行